

事業評価書

補助事業名	交通施設：道路照明灯設置				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町大字殿ヶ谷、大字石畑、大字箱根ヶ崎、大字高根、大字長岡長谷部地区				
補助事業の成果の目標	瑞穂町内の多くの道路照明灯は、老朽化による道路照明灯内部の劣化により、照度も落ち、夜間の交通安全に支障を来している。 平成 26 年度から令和 7 年度までの 12 年間で、瑞穂町内全ての道路照明灯約 2,600 基を、順次、LED 道路照明灯に更新していき、瑞穂町内の交通の安全と円滑化を図る。				
補助事業の内容	道路照明灯設置 令和 7 年度実施分 157 基（既存照明灯の LED 化 160 基）				
補助事業の始期及び終期	平成 26 年度 — 令和 7 年度				
事業費及び交付金額		令和 6 年度 以前	7 年度	8 年度以降 予定	計
	事業費	円 445,667,400 (445,837,400)	円 35,046,400 (35,530,000)	円	円 480,713,800
	交付金額	円 407,773,000	円 31,541,000	円	円 439,314,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	[補助事業の成果及び評価] 事業を実施した地区の町内会長及び事務所等が所在する会社より整備前後の状況をアンケートにより聞き取った結果、LED 道路照明灯の設置により道路が明るくなった、車や歩行者にとって安全な道路になったという意見をいただき、交通の安全と円滑化が図れたことを確認できた。 [地域住民への周知の実施状況] ・工事期間中、工事看板に防衛省交付金事業である旨を記載 ・工事完了後、防衛省交付金事業である旨の標示シートを設置 ・町の広報紙（5 月号）及びホームページに掲載				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：石畑防災広場拡張整備工事				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町大字石畑 1 9 9 番 1 外 2 筆				
補助事業の成果の目標	石畑防災広場は、平成 2 7 ～ 2 8 年度にかけて災害時の一時避難場所として整備を行っている。今回行う工事では、拡張した用地内に防災用の倉庫等を新たに整備する。 石畑防災広場は、平常時には消防団の訓練会場や災害用備蓄品等の集積拠点として運用し、災害発生時には緊急輸送道路である新青梅街道に近いことを活かして、自衛隊等外部からの救援部隊と連携して医療などの拠点として展開しつつ、各指定緊急避難場所等への物資輸送の拠点として活用する。すでに町北部にある元狭山広域防災広場と合わせて、町全体の防災体制を確立することにより、町民の安全・安心な生活を確保することを目標とする。				
補助事業の内容	防災広場：用地取得1325.47㎡ 整備工事1325.47㎡				
補助事業の始期及び終期	令和 5 年度 — 令和 7 年度				
事業費及び交付金額		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	計
	事業費	円 59,228,317	円 —	円 103,840,724 (104,500,000)	円 163,069,041 (163,728,317)
	交付金額	円 57,000,000	円 —	円 100,000,000	円 157,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	[補助事業の成果及び評価] 整備工事竣工後に、議員、町内会長、自主防災組織連絡協議会会員、周辺住民、福生消防署、消防団等を招き、見学会を実施した。防災広場の概要を説明し、実際に倉庫の内部、LEDソーラー防犯灯等の設備を見てもらうことで、町の防災体制の P R を図った。見学会後、参加者にアンケートを取り、整備工事により、地域の安全・安心が向上したとの回答を得ている。 [地域住民への周知の実施状況] ・ 工事竣工後に見学会及びアンケートを実施 ・ 工事完了後、施設案内板に防衛省交付金事業である旨を記載 ・ 町の広報紙（4 月号）に掲載 ・ 町のホームページに掲載				
事業の改善措置及び今後の対応	防災倉庫内の備蓄品の充実、消防団の訓練、町内会等の防災訓練の実施により、施設の有効活用を図る。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	環境衛生施設：防犯カメラ更新等工事				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町内				
補助事業の成果の目標	瑞穂町では、53台の防犯カメラを設置し運用していますが、うち38台は平成26年度に設置されたものであり、耐用年数や性能面で更新の時期を迎えています。 本事業で38台の防犯カメラを更新することで、画素数をはじめとする基本的な性能が大幅に向上することで鮮明な映像で録画ができ、事件の早期解決に寄与することができます。 また、更新に合わせて、河川氾濫監視兼用の防犯カメラ1台を新設するとともに、全ての防犯カメラに通信回線機能を付加し、庁舎において集中管理を行うことで町内の状況をリアルタイムで確認することができるため、迅速な対応を講ずることが可能となるなど、町民の安全安心を守る、犯罪や災害に強いまちづくりを目指します。				
補助事業の内容	防犯カメラ更新等工事一式（更新39台（追加更新1台含む）、新設1台）				
補助事業の始期及び終期	令和7年度				
事業費及び交付金額		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業費	円 0	円 39,634,100	円 0	円 39,634,100
	交付金額	円 0	円 35,748,000	円 0	円 35,748,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	[補助事業の成果及び評価] 町民等アンケートの結果、「まだまだ暗いところもあるので増やしてほしい。」との意見があったものの大多数が「安心して生活できるようになった。」との回答が得られた。 町内の防犯カメラを更新・通信回線機能の付加により町内の状況をリアルタイムで把握し、万一の事件・事故・災害発生時における迅速な対応を可能としたことが、町民の安心感へと繋がったものと思われる。 本事業が、町民の安全安心な生活を守り、犯罪や災害に強いまちづくりへの一助として有効な事業であったと評価することができる。 [地域住民への周知の実施状況] ・工事期間中、防衛省交付金事業で整備を行っている旨を掲示 ・工事完了後、防犯カメラ付近に、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を記載した看板を設置 ・町の広報紙防衛省交付金事業で整備した旨を掲載				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	医療施設：自動体外式除細動器（ＡＥＤ）購入				
補 助 事 業 者 名	瑞穂町長				
設 置 場 所	瑞穂町町内（各コンビニエンスストア）				
補助事業の成果の目標	不特定多数の住民が利用する町内のコンビニエンスストアに自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を設置することにより、店舗の利用者及び周辺住民の緊急事態に備え、いつでも、だれでもＡＥＤを使用できるようになり、応急救護体制の充実強化とともに、さらなる救命率の向上と安全安心を図るものです。				
補 助 事 業 の 内 容	自動体外式除細動器（ＡＥＤ）２１台購入、町内コンビニエンスストア２１店舗に設置				
補助事業の始期及び終期	令和７年度				
事業費及び交付金額		令和６年度	令和７年度	令和８年度	計
	事業費	円	円 8,924,850	円	円 8,924,850
	交付金額	円	円 8,152,000	円	円 8,152,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 各コンビニエンスストアのオーナー及び店長への聞き取りでは「店舗が幹線道路の交差点にあり、交通事故が多い場所なので万が一に備えて整備されて良かった。」「公園が近く何があるかわからないので、整備されて緊急時に安心だ。」等の意見があった。 また、店舗利用者へのアンケートでは「２４時間使えるのでとても良い。」「日常的に利用する場所なので大変安心。」「町の救急体制が整っていて感謝。」等の意見があった。 以上のことから、自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を設置したことで、あらゆる状況でＡＥＤを使用できるようになり、応急救護体制の充実強化及び更なる救命率の向上を図るとともに、町民の安全安心を守ることにつながる事業になったと評価することができる。 〔地域住民への周知の実施状況〕 町公式ホームページ及び広報紙に、調整交付金により事業を実施したことを掲載 自動体外式除細動器（AED）に交付金事業である旨を明記				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

継続事業名	交通施設:845号線 (瑞穂町)				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町大字箱根ヶ崎地内				
補助事業の成果の目標	本路線は、近年、周辺地域の宅地開発による人口増加により、住民の生活道路としての需要が高まっており、また、学校が隣接しており、通学路として歩行者の利用が多い。 しかしながら、本路線の対象地は道路幅員が狭隘であり、安全上の懸念がある。また、隣接する学校は災害時の指定避難所となるため、緊急車両の進入や避難に支障をきたすことが懸念される状況である。 このため、補助事業を活用し道路の拡幅及び新設整備を実施することにより、交通の円滑化はもとより、地域住民の生活環境の向上に寄与する。 [参考指標] 対象地区(箱根ヶ崎地区) 人口/世帯数:6,008人/3,127世帯(R7. 5. 1現在)				
補助事業の内容	用地買収 164.41㎡ 改良舗装 W=6.0m、L=108m				
継続事業の始期及び終期	令和7年6月から令和8年3月				
事業費及び交付金額		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業費	円 0	円 7,025,941	円 0	円 7,025,941
	交付金額	0	6,324,000	0	6,324,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	工事完了後、路線周辺関係者に聞き取りし、安全性の向上について確認した。(別紙のとおり) また、工事期間中は工事看板に防衛省交付金事業である旨を掲示し、住民の理解を得た。 なお、今後町のホームページに事業完了について周知予定。				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

[illegible]

事業評価書

補 助 事 業 名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：郷土資料館指定管理委託運営事業基金								
補 助 事 業 者 名	瑞穂町長								
実 施 場 所	瑞穂町大字駒形富士山316番地								
補助事業の成果の目標	瑞穂町郷土資料館けやき館は、平成２６年１１月の開館以来、町内外から多くの来館者で賑わい、瑞穂町を代表する集客施設となっている。特に、瑞穂町の自然を紹介する「狭山丘陵の再現」やプロジェクトンマッピングによる瑞穂町の生い立ちを紹介する「地形シアター」、上空１７００mから撮影された航空写真「バーズアイ」、隣接する米国空軍横田基地に関するコーナー設置等、他の資料館では見ることのできない展示もそうであるが、魅力ある企画展、各種講演会、イベントなど日々何かしらの行事を仕掛けている運営が好評であり、これらの発想は指定管理業者によるところが大きい。公の考えにとらわれない運営状況が、当館の入館者数に反映されている。これらの運営費等に補助事業を該当させることで、安定的な運営をベースに、更なる事業仕掛けを行うことで、瑞穂町の魅力発信につなげるとともに交流人口の増加に寄与することを目的とする。								
補 助 事 業 の 内 容	郷土資料館の管理運営を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成２８年度から令和７年度 基金の処分：平成２９年度から令和８年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)－(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	2,500,000	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000	0
	平成29年度	70,000,000	0	0	200	70,000,200	30,000,000	42,500,200	55,843,644
	平成30年度	70,000,000	0	0	616	70,000,616	50,000,000	62,500,816	55,139,000
	令和元年度	0	0	0	1,000	1,000	30,000,000	32,501,816	57,587,098
	令和2年度	25,500,000	0	0	1,001	25,501,001	30,000,000	28,002,817	56,395,349
	令和3年度	58,000,000	0	0	0	58,000,000	50,000,000	36,002,817	56,763,230
	令和4年度	38,000,000	0	0	0	38,000,000	50,000,000	24,002,817	58,160,537
	令和5年度	38,000,000	0	0	0	38,000,000	30,000,000	32,002,817	56,771,033
	令和6年度	42,073,000	0	0	0	42,073,000	30,000,000	44,075,817	57,239,000
	令和7年度	10,229,000	0	0	0	10,229,000	30,000,000	24,304,817	87,959,360
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 館内に設置しているアンケート調査では、1,102名の方から回答をいただき、常設展示や展示の見やすさ、スタッフの対応などの項目で、「大変良い」「良い」という回答は全て90%を超えています。運営費等に補助事業を該当させることで、瑞穂町の魅力の発信と交流人口の増加に寄与するという補助事業の成果の目標は、達成できたと考えます。 また、町教育委員会の令和7年度郷土資料館来館者目標は、35,000人でしたが、年間の来館者数は37,959人（前年度比114.0%、4,675人増）となり、町教育委員会の目標も達成できました。 〔地域住民への周知の実施状況〕 広報紙、ホームページ及び館内に防衛省調整交付金を活用した旨を掲示し、PRしています。								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補 助 事 業 名	環境衛生に関する事業：リサイクルプラザ運転業務委託運営事業基金								
補 助 事 業 者 名	瑞穂町長								
実 施 場 所	瑞穂町大字箱根ヶ崎 1 7 2 3 番地								
補助事業の成果の目標	みずほリサイクルプラザは、平成 1 5 年の開所以来、家庭から排出される一般廃棄物のうち、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ及び粗大ごみの中間処理を行っている。特に循環型社会の形成を促進するため、容器包装プラスチック選別圧縮梱包施設では、日々、作業員による手作業により、品質の高いプラスチック資源を選別している。また、令和 6 年度からプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づき、焼却していた硬質プラスチックを分別品目に追加しリサイクル資源として処理を開始した。 一般廃棄物の処理については、町に統括的な責任があることから、1 日たりとも休止することはできない。そのため、この施設の機能を十分に発揮させるため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、適切に安定稼働させていく。								
補 助 事 業 の 内 容	みずほリサイクルプラザの運営を外部委託する事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成 2 8 年度から令和 7 年度 基金の処分：平成 2 9 年度から令和 8 年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額	基金 残額	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	0	8,000,000	0
	平成29年度	170,566,000	0	0	650	170,566,650	80,000,000	98,566,650	128,016,936
	平成30年度	145,266,000	0	0	550	145,266,550	90,000,000	153,833,200	123,694,560
	令和元年度	28,000,000	0	0	1,000	28,001,000	90,000,000	91,834,200	115,665,889
	令和 2 年度	49,782,000	0	0	1,000	49,783,000	90,000,000	51,617,200	128,705,034
	令和 3 年度	132,000,000	0	0	0	132,000,000	100,000,000	83,617,200	129,267,600
	令和 4 年度	120,000,000	0	0	0	120,000,000	100,000,000	103,617,200	130,398,400
	令和 5 年度	58,464,000	0	0	0	58,464,000	80,000,000	82,081,200	130,398,400
	令和 6 年度	252,106,000	0	0	0	252,106,000	123,401,200	210,786,000	130,398,400
	令和 7 年度	11,152,000	0	0	0	11,152,000	122,000,000	99,938,000	159,084,255
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	[補助事業の成果及び評価] 家庭から排出される一般廃棄物のうち、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ及び粗大ごみの中間処理を適切に行ってきた。ごみの搬入量は2, 7 5 2 t（前年比マイナス9 7 t）、搬出量は2, 1 7 8 t（前年比マイナス5 8 t）でした。ごみ量を把握することで作業の効率化を図り、最終処分されるごみの減量及び資源化されるゴミの選別への取り組みに反映させた。特に循環型社会の形成を促進するため、容器包装プラスチック選別圧縮梱包施設では、日々、作業員による手作業により、品質の高いプラスチック資源が休止することなく選別することができた。また、粗大ごみの受入れについても作業員による資源分別を行い、その品質向上に努めてきた。更に、リサイクル品として使用可能なものを選別し、販売することで地域住民へと循環され、この事業の重要性を周知させてきた。 よって、この施設の機能を十分に発揮させることができたことにより、ごみの減量及び資源化の取り組みに反映できたと判断する。 [地域住民への周知の実施状況] 広報紙及びホームページのほか、ごみ・資源物カレンダーやみずほリサイクルプラザのパンフレットに防衛省調整交付金を活用した旨を掲載し P R している。また、施設見学者や視察に来られた方々へも施設の重要性について P R した。								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の有無	無								

事業評価書

[illegible]